

御案内

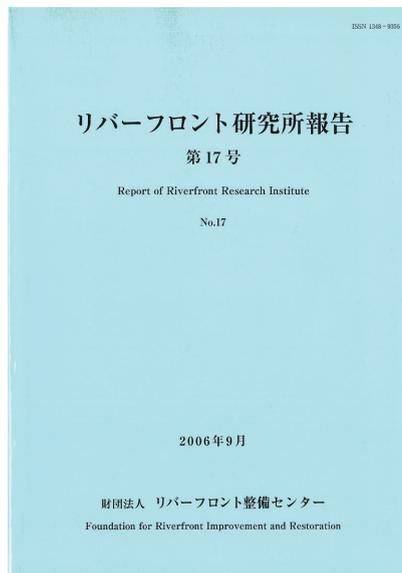
第15回リバーフロント整備センター研究発表会

この研究発表会は、当センターの水辺空間のあり方、保全・利用と整備、生態の保全と回復等に関する調査研究の成果を皆様に広く知っていただくために、毎年開催しています。平成19年度は、以下のとおり開催が決定しましたのでお知らせします。

日時 平成19年9月28日(金) 10:00～
場所 科学技術館サイエンスホール(千代田区北の丸公園2-1)

プログラム等詳細につきましては、現在未定のため、決まり次第、当センターホームページ(<http://www.rfc.or.jp/>)にて、お知らせしますのでご覧下さい。なお、この研究発表会は、土木学会認定CPDプログラムに申請する予定です。

また、この研究発表会に併せて「リバーフロント研究所報告」を発売します。既に発行している過去の報告(17号(2006年版)以前)につきましては、当センターのホームページに掲載していますのでご覧下さい。



新刊図書の紹介

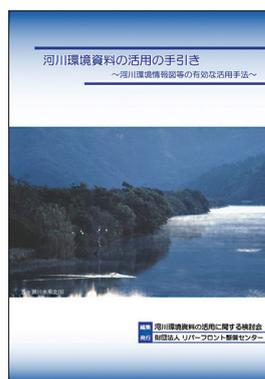
『河川環境資料の活用の手引き ～河川環境情報図等の有効な活用手法』 『河川景観ガイドライン ～河川景観の形成と保全の考え方～』

当センターでは河川環境のさらなる向上を願い、「河川環境資料の活用の手引き ～河川環境情報図等の有効な活用手法」および「河川景観ガイドライン ～河川景観の形成と保全の考え方～」を2007年度に刊行する予定です。

前者は、「河川水辺の国勢調査」や「多自然型川づくり」追跡調査等によりこれまでに蓄積されてきた河川の物理環境や生物の生息状況等の河川環境に関する情報(本書ではこれらを総称して「河川環境資料」と呼ぶ)を、河川環境の保全・復元を図る河道計画策定や施工・維持管理等に有効活用していただくための手引きです。また、後者は、美しい河川景観の創造を目的として、河川景観のとらえ方、マネジメント、具体的なデザインについて、多くの事例を用いながらわかりやすく解説するものです。

現段階ではいずれも発行日、価格等の詳細は未定ですが、河川管理者や技術者をはじめ、川に携わる多くの方々の参考となれば幸いです。

また、「河川景観ガイドライン ～河川景観の形成と保全の考え方～」の策定に際し、検討委員会委員長を務めていただいた東京工業大学名誉教授 中村良夫先生が、このたび「湿地転生の記 風景学の挑戦」を刊行されましたので、ここに紹介させていただきます。



編集：河川環境資料の活用に関する検討会
発行：(財)リバーフロント整備センター



著者：中村良夫
出版：岩波書店
発行：2007年2月
価格：2,625円(税込)